

一般演題（デジタルポスター） / 看護/維持期 1

2016/06/12 13:40~14:46 リーガロイヤルホテル デジタルポスター会場 6 梅 (2F)

**[P-3-362] 13:40~14:46**

**ペンレスやテープかぶれのある患者におけるピュアバリアの使用**

座長：松田 愛 / (医) 仁楡会仁楡会病院

演者：田中 真利子 / (医) 北桜会新線池袋クリニック

共著者：四元 真理、川村 澄子、小林 里子、石澤 健一、目良 純一郎 / (医) 北桜会新線池袋クリニック

【はじめに】シャント肢のペンレスやテープかぶれに注目しピュアバリアモイストジェルの使用による効果を観察した。

【方法】発赤・痒み・かぶれのある部位にピュアバリアを塗布し、1週間毎に保湿度の測定、皮膚状態を写真撮影し白取の重症度基準・VASスケールにて評価。また固定テープの粘着状況を観察。対象者4名。観察期間4週間

【結果】対象者全員に保湿度上昇、痒み・かぶれ・ひっかき傷・発疹・発赤の改善が見られた。固定テープのはがれかけは、延べ48回中1回見られた。

【考察】ピュアバリア使用后対象者全員に保湿度の上昇が見られ、ピュアバリアの保湿力・鎮痒成分により、痒み・かぶれの軽減につながったと考えられる。ピュアバリアを使用した状態でも固定テープにはほとんど影響がなく、安全であったと考えられる。